

アドバイスレポート  
(別添1)



#### <消毒ワイブ>

消毒剤には開封後使用期限が決められています。その理由として開封後は細菌汚染や成分の分解が起こりやすくなる為、開封後は使用期限を短めに設定し早めに使い切ることが大切です。使用期限をしっかりと定めて、開封日記入を徹底させることをお勧めします。



#### <感染性廃棄 BOX>

感染性廃棄 BOX は正面にマークがしっかりと向いておりましたが内袋が設置されていませんでした。内袋がなくなれば用量も増え感染物からの汚染が外側に及ぶことがないと考えます。容器に過剰に汚染物や鋭利なものが入ると貫通の恐れや密閉を妨げるので危険です。感染性廃棄物 BOX は 8 割で交換してください。



#### <スポンジ>

スポンジは定期的に交換されているとのことでしたが、スポンジの汚染が目立っていました。スポンジがシンク内に置かれているので乾燥しない状態です。スポンジは吊り下げる・シリコン製など消毒や乾燥しやすい材質のスポンジを使用するなどの管理方法をお勧めします。



#### <浸漬消毒 汚物処理室>

畜尿カメの浸漬消毒に使用されていたゴミ箱ですが、患者のトイレ前室にありカーテンで見えないようにされていました。巨大な量の消毒薬を作成や破棄することへの労力なども考えると①畜尿カメ消毒の場所を横の部屋手洗い場の片側を医療不潔エリアとし袋での浸漬消毒の実施をお勧めします②次亜塩素酸ナトリウム消毒薬は 24 時間毎に作り変える必要がある為毎日作成してください。

部署名：病棟



#### <カーテン 汚物室>

汚物層を覆うカーテンは不潔な手で触れる事が多く、カーテン自体が汚染され接触感染のリスクが高くなり得るため適切な管理が必要となります。定期的な洗濯や消毒をしっかりとこなってください。また、カーテンに触れる前の手指衛生の徹底もお勧めします。



#### <病室前のポスター>

病室前に手指衛生の啓発ポスターが掲示されておられました。手指衛生は感染予防の基本なので継続して啓発活動を行ってください。



#### <清潔リネン庫>

清潔リネン庫内はきれいに整頓され管理されておりました。木製でしたがしっかり拭けるような素材でホコリもなくきれいでした。



#### <病棟内のミキシング台の上 エアコン>

ミキシングは清潔なエリアで行う作業のためエアコンの直下にミキシング台があると不潔になるリスクが高いです。ミキシング中はエアコンを停止してください。またミキシング作業前は台を消毒し手指衛生を行い、手袋を着用して実施されることをお勧めします。



#### <感染性廃棄物 病棟>

ミキシング台下の感染性廃棄 BOX に病棟で患者に使用した汚染した物品が入っていました。ミキシング台は清潔エリアになるので汚染されるリスクが高くなります。置き場所を検討されることをお勧めします。

また、鋭利な感染性廃棄物を捨てる場合は、バイオハザードマーク黄色の感染性廃棄 BOX をご使用ください。



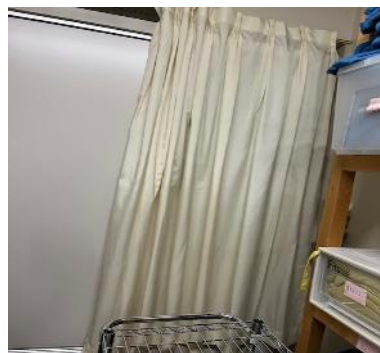
#### <手洗い場横 消毒・お茶・オートクレーブ>

ナースセンター内のシンク横で患者の経管栄養物品の消毒と患者用お茶と次亜塩素酸ナトリウム消毒薬の横にオートクレーブが配置されていました。清潔と不潔の混在なのでしっかりと分別して管理されることをお勧めします。また患者に使用する経管栄養物品は個別の必要はありません。次亜塩素酸ナトリウムは日光のあたらない冷暗所で保管してください。患者のお茶は清潔に保管し冷所保存をお勧めします。



#### <清潔リネン庫>

手洗い場でペーパーホルダーが設置され、正しい手洗方法のポスターが掲示されていました。しかしストックペーパーが取り出し口下であり水分で汚染されやすく、直に置かれて保管されていたのでストックは別の場所で保管をして定期的にペーパータオルを清潔に補充することをお勧めします。



#### <清潔リネン庫内のカーテン>

清潔リネン庫内はとてもきれいに保管されていました。入口横に窓ガラスがありカーテンで覆ってありました。カーテンの使用を避けさらに清潔に保管されることをお勧めします。

カーテンを使用される際は定期的な洗濯や消毒をしっかりとこなしてください。

部署名：病棟



<ナースセンター内>

天井エアコンに段ボールで風の調整を行っていました。  
段ボールは湿度を含みやすくカビの原因やゴキブリなどの害虫の発生を促すリスクが高くなります。その為早々に取り外すことと、エアコンのスイングを使用しないことをお勧めします。



<汚物室 畜尿カメ>

畜尿カメの乾燥時に下にペーパータオルを活用されていました。  
湿ったペーパーの上では乾燥しにくく、接触面が汚染されるリスクが高くなります。編みかご上での乾燥などをお勧めします。



<処置用ワゴン>

処置用ワゴン横のカゴの中身には、清潔物品や電池などが混在しているため、整理整頓をしましょう。  
また、この状態での保管は、ホコリがかぶり清潔に保管されないため、常に置かれた状態は推奨できません。  
輪ゴムは使い回しをされて清潔ではないことが多いため、現場での利用は控えてください。



<滅菌物>

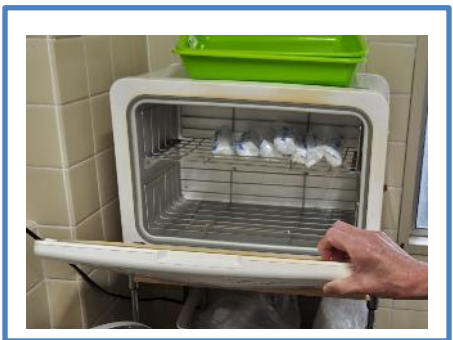
滅菌物を輪ゴムで、まとめられていました。この状態は、輪ゴムにより包装が破れたりする可能性があるため、使用は中止しましょう。  
他に、注射針なども輪ゴムを使用して保管することも同様に、推奨されませんのでご注意ください。

部署名：病棟



ナースステーション内

マスクや手袋はホコリや落下菌汚染を防ぐため、開封口が上を向かないように、立てて設置をお勧めいたします。



おしぼりはディスポ品で、保管庫内はきれいに清掃されていました。



汚物処理室の汚物層清掃ブラシは消化器用と呼吸器用で使い分けして  
いました。使用后ブラシは吊るして乾燥させていました。



汚物処理室内の棚上に手袋が置いてありました。ホコリがたまること  
が懸念されます。通風口も近いので、棚上に物品を置かないようにお  
願いします。



汚物処理室のスペースが狭く、患者トイレへの通路とカーテンで仕切られており、カーテンは毎日、環境清拭シートで拭いて、月1回交換しているとのことでした。また、ゴミ箱の設置が無く、使用后 PPE は少し離れた洗面室で廃棄するとのことでした。

汚物層周辺は特に耐性菌等の細菌が飛び散る可能性が高い場所です。使用后 PPE は耐性菌等の付着を想定し、汚物処理室内で脱着して小袋に密閉、別場所で廃棄するなど、耐性菌を汚物処理室から外に出さない工夫をご検討ください。

また、汚物処理室の手指衛生は個人携帯ではなく、非接触で使用できる足踏み式手指衛生剤の設置があるとより良いと思います。



病室扉の手袋、マスクは開封口が上を向かないように立てて設置されていました。

マスク、手袋、エプロンの装着・脱着手順の掲示もありました。



手指消毒剤が、病室前廊下に多数設置されていました。

面会者用に使用方法の掲示もありました。



清潔物品が蓋の無い紙箱で置かれていました。

清潔操作時に物品外袋に付着した埃などによる汚染の可能性があります。蓋付きプラスチックケースなどの使用をご検討ください。



3階汚物処理室はゴミ箱の設置があり、尿の廃棄手順が掲示されていました。ゴミ箱の蓋に「エプロン、手袋、ペーパータオル等を捨てる」と用途を明記してありました。

棚の尿器の下に紙が敷いてありました。物品は乾燥させてから棚に収納し、下に紙を敷かないようお願いします。

また、汚物処理室の手指衛生は個人携帯ではなく、非接触で使用できる足踏み式手指衛生剤の設置があるとより良いと思います。

部署名：外来



#### < 感染性廃棄物保管庫 >

感染性廃棄容器は、適切に管理保管ができていました。



#### < 創交車 >

・イソジン消毒薬に、開封日の記載がありませんでした。消毒薬や軟膏類など、開封日を記載しましょう。また、開封期限の設定がない場合は、開封後の滅菌、清潔度の保証が失われるため、開封期限の設定することをご検討ください。

・ガーゼ缶やチリンデルを使用されていましたが、滅菌状態は、インジケータで滅菌状況や日付の確認はできました。

・しかし、使用状況によりガーゼや綿球が使われず、再滅菌されることや洗浄や滅菌するための準備・労力があるようでしたら、費用対効果にてディスポ製品の導入は保管管理が安定し、管理がしやすくなる場合もあり、導入をご検討ください。



#### < リハビリ室 >

リハビリ室内のテーブル下にカーテンがされていましたが、定期的な交換や洗濯がされていない場合は、いろいろな人が触れるため、細菌ウイルスの温床になる可能性があります。

カーテンの衛生管理が十分にできない場合は撤去することもご検討ください。

部署名：外来



<リハビリ室>

診察台に使用しているカバーは、患者毎の交換が適切な使用方法となります。そのため、患者毎の管理は、困難となるためカバーの使用は推奨しません。その代わりに、使用後毎に台の消毒清拭を行うことで、患者間の伝播予防はできるため、管理方法の変更をご検討ください。



<内視鏡室>

内視鏡の部品が、タオルの上で乾燥されていました。この状態では、乾燥が十分にされず不適切な管理方法になります。乾燥機を使用ししっかり安定した方法で乾燥させましょう



<リハビリ室>

水回りのそばに个人防护具やガーゼが置かれていました。水しぶきにより、汚染されるため設置場所にご注意ください。  
空き箱の再利用は、保管するために使用するものではありません。プラスチック容器などを利用することを推奨します。



血液検査装置の前にアルコール綿、キシロカイン注射薬などが置かれていました。

清潔エリアと感染エリアのエリア分けをご検討ください。



採取後の検査用検体（外部委託検査用）は鍵付 BOX で外来受付に置いてありました。



外来採血場所には、足踏み式バイオハザードマーク黄色の感染性廃棄 BOX、針 BOX が設置され、1 患者毎に手袋を交換して採血が行われていました。



#### <発熱外来>

発熱外来で使用されている感染性廃棄容器は、この方法は、入れ替え作業が発生すると思われます。感染性廃棄物は、専用容器を使用しましょう。



#### 発熱外来診察室前設置の PPE

鼻咽頭ぬぐい液検体採取は、患者が咳やくしゃみをするなど、曝露リスクが高い行為になります。フェイスシールドの着用のため、設置をご検討ください。



#### <正面玄関>

有症状者への受診方法について、案内がわかりやすく表示されていました。



薬剤が入っている箱が床に直置きされています。床上 30cm は人が歩くことにより床の埃が舞い上がります。医薬品を含めて清潔物品が汚染されることのないよう、足元に置かない場所で管理してください。

部署名：受付・薬局（1階）



薬剤部（3階）にある冷蔵庫が一般家庭用の冷蔵庫であることから、厳密な保管温度管理が必要な医薬品（インスリンやワクチン等）は受付・薬局内（1階）にある医薬品専用冷蔵庫で保管されていました。冷蔵庫内温度が上昇した時はブザーが鳴るとのことですが、毎日温度を確認する体制がありません。温度管理記録表の作成をご検討ください。

部署名：薬剤部（3階）



薬剤部内（3階）の冷蔵庫は一般家庭用であるため、室温保存の坐薬と混合後の塗り薬を保管としていましたが、冷蔵庫内に温度計を設置して記録を取ることが望ましいです。1階の冷蔵庫と同様に、温度管理記録表の作成をご検討ください。

冷蔵庫内は医薬品のみ保管されており、飲食物などの混在はありませんでした。



予製された混合外用薬の調剤日が記載されていません。数日以内に払い出しがなされるとのことでしたが、古いものが残る可能性がありますので、調剤年月日をご記載ください。



薬剤部内スペースが非常に狭いため、高い位置での注射薬保管はやむを得ないかもしれませんが、左側のアンプル剤の箱が落下しやすい状態でした。他の薬剤と同様、落下しないようご配慮ください。

段ボール箱はカビや埃が付着しやすいため、清拭清掃しやすいプラスチック製の箱を使用している点は良いと思います。棚の上など高い所は清掃しにくく埃がたまりやすいので、定期的に清掃を行ってください。



棚の下段には、再使用する可能性のある中止薬も保管されていますが、床上 30cm は人が歩くことにより床の埃が舞い上がります。医薬品を含めて清潔物品が汚染されることのないよう、足元に置かない場所で管理してください。配置変更が困難な場合には、埃がかからないように蓋付き容器を用いての保管、又は引き出しタイプの棚での管理方法へ変更してはいかがでしょうか。

クリアファイルや書類等についても配置変更をご検討ください。



消毒薬の開封日の記載がありません。消毒用エタノール（1L）は約 2 週間で使い切るとのことですが、期限を超過した消毒薬を使用しないように、容器に開封年月日を記載しましょう。

消毒用エタノールはスプレーボトルへ詰め替えて使用されています。スプレータイプの消毒薬使用は、散布時に粘膜刺激等の有害事象が起きる可能性があります。外用薬の調剤時などスプレー使用が必要なケースはあると思われませんが、スプレー使用を最小限とするため、調剤台の清拭時には環境清拭クロスの使用をお勧めします。スプレー容器には、内容物と使用期限が分かるように明記しましょう。

スプレーボトルのアルコールを手指消毒に用いており、アルコールジェルが使用されていません。長期間使用していない消毒薬は廃棄してください。冬場は皮膚が乾燥しやすく、手荒れがあると手洗いや手指消毒が不十分になりやすくなります。手荒れは起きていないとのことでしたが、状況に応じて、保湿剤入りのアルコールジェルを用いた手指消毒もご考慮ください。



スペースが非常に狭いため、集塵機付き散剤台はなく、調剤台で散剤秤量がなされています。粉碎処方が約 8 割を占めるとのことです。設置された集塵機では追いつかず、調剤台のあちこちへ粉が付着しています。各薬剤棚にも粉が飛散しており微生物汚染も懸念されますが、こまめに掃除してもすぐに粉が飛散してしまう状況が伺えました。

粉碎調剤は薬剤量損失、配合変化による力価低下、汚染、他剤のコンタミネーションのリスクもあります。簡易懸濁法を用いた薬剤投与は患者の状態変化による薬剤変更に対応しやすく、経済的にも有効です。薬剤師人員は少ないとのこと、粉碎調剤の負担軽減により薬剤師が新たな業務へ介入できる可能性もあります。一度は簡易懸濁法導入が試みられたものの、投薬時の煩雑さから導入困難であったと返答いただきましたが、様々な観点よりメリットは多いと思われしますので、簡易懸濁法導入を前向きにご検討いただければと思います。集塵機付き散剤台や簡易懸濁法の導入が困難な場合は、散剤調剤時にビニール製のカーテン等で薬品棚をカバーするなどの対応もご検討ください。

部署名：検査室



手洗い場の横に、尿試験紙、尿採取容器などの物品があり、上にタオルが掛けられていました。手洗い場、検査物品、ペーパータオルの順で配置されており、手洗い後に濡れた手で検査物品上空を通過してペーパータオルを取る動線になっていました。

尿試験紙は湿気厳禁です。タオルに水がはねた場合は余計に湿気を含みます。タオルは撤去し、蓋付きプラスチックケースに収納するか、使用时以外は別の場所に片づけるなどをご検討ください。また、ペーパータオルの位置をご検討ください。

外来採尿トイレから検査室への尿運搬にタオルで包んだ紙箱が使用されていました。

採尿カップ外側に尿が付いている場合もあり、尿運搬ケースには必ず尿が付着します。紙箱やタオルは清拭できないため、蓋付き不透明のプラスチック容器等で運搬し、毎日、清拭して使用することをご検討ください。